



写真:オオワライタケ (撮影:平成29年9月19日)

「オオワライタケ」

笑えないきのこ

夏 休みが終わわり、朝夕の気温
 が下がりはじめると地面や枯
 れ木からたくさんのキノコが発生
 します。えびの高原周辺でも色と
 りどりのキノコが我々の目を楽し
 ませてくれます。

その中でも大きさが10cm以上も
 あるキノコを見つけました。オオ
 ワライタケ、ボリユームがありお
 いしそうです。毒キノコです。食
 べると幻覚作用があり、興奮状態
 になることでこの名がついたそう
 です。また神経系の毒があり、顔
 がいれんして笑っているように
 も見えるという話もあります。

そんな危険なオオワライタケで
 すが、見ごたえのある鑑賞菌です。
 一本で生えることもありますが、
 複数が束になることも多く、大型
 のキノコが大量に森の中に生えて
 いる様子はかなりの迫力。鑑賞す
 るだけでその魅力を堪能できます。
 霧島山では主にミズナラの枯れ
 木の根本から生えているのを見か
 けます。黄色い大型のキノコを見
 つけたら、笑えないキノコ、オオ
 ワライタケかもしれません。
 (文/えびのエコミュージアムセンター)

オオワライタケ
Gymnopilus junonius

ハラタケ目フウセンタケ科

